



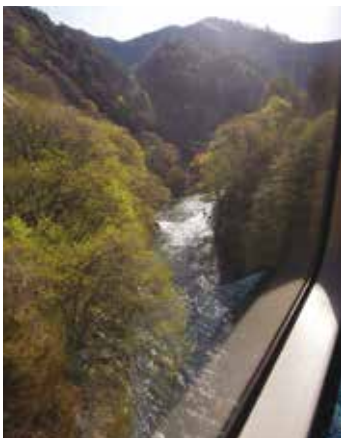
「旧盛岡機関区荒屋新町支区扇形機関庫・転車台」と案内板



## 今も現役。荒屋新町駅の扇形機関庫・転車台

大更駅付近からは国道282号とほぼ並走して北上します。荒屋新町駅ホーム北側にあるのが「旧盛岡機関区荒屋新町支区扇形機関庫・転車台」です。先に紹介した急こう配区間を走るSL基地の名残で、当時14両ほどのSL、98名の職員が所属していたとのこと。現在も夜間に活躍する保守車両基地として活躍中。全国でも珍しい現役の扇形機関庫・転車台のひとつです。横間駅と田山駅間のトンネルを過ぎると分水嶺、兄畑駅の先で県境を越え秋田県に入ります。

兄畑駅～湯瀬温泉駅間が県境。並走する国道282号の案内板が一瞬見える



米代川の源流部となる「湯瀬渓谷」



その名もズバリ「八幡平駅」。ひっそりたずむ無人駅だ

## いわてホリデーパス

土・休日（他特定期間もあり）の1日間、フリーエリア内の普通列車（快速を含む）の普通車自由席、BRT（盛～気仙沼～柳津）及び東日本交通バス（茂市～岩泉病院間）が乗り降り自由。

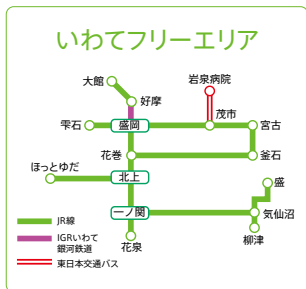
【発売期間】通年

【有効期間】1日

【料金】  
大人2,500円、小人1,250円

【利用期間】  
土・休日（4/29～5/5、7/20～8/31、12/23～1/7は毎日可）

【発売箇所】  
フリーエリア内の主な駅の指定席券売機、みどりの窓口、駅たびコンシェルジュ及び主な旅行会社



十和田南駅。ここで進行方向が逆になる

## 鉄分タップリの旅の仕上げは…

車窓の湯瀬渓谷を楽しみ列車は八幡平駅へ。田園風景に変わります。鹿角地区の拠点駅・鹿角花輪駅を経て列車は十和田南駅へ。ここから列車は進行方向が前後逆になります。かつて考案されるも、実現できなかった延伸計画の名残とされています。

今回はここで下車。バス（秋北バス）に乗り換え小坂方面へ向かいます（鹿角花輪からのルートも有）。明治の面影を残す芝居小屋「康楽館」、南部藩時代から続く鉱山の歴史を紹介する「小坂鉱山事務所」。そして、東日本屈指の鉄道テーマパーク「小坂鉄道レールパーク」へ。鉄分充実の旅の仕上げを楽しみます。

スイッチバックの説明図



康楽館（国重要文化財）



小坂鉱山事務所（国重要文化財）

小坂駅まじり鉄道遺産  
レール遊びの複合施設

### 小坂鉄道レールパーク





旧小坂鉄道の駅舎、車両基地を活用した施設。入場券は硬券。鉄道ファンにとっては「バチン」と切る入鉄の音にも心躍る。かつて小坂鉄道などで活躍していた機関車等が動態保存されており、線路を走るレールバイクなど楽しい体験メニューも人気。最新情報はHPから。

